

KSK—フェーゲル コンクリート・スプレツダ および フイニツシャ

汽車製造KKが製作開始

汽車製造KKでは、今回西独フェーゲル社と技術提携を行ない、その優秀性をもって世界的に有名な、同社のコンクリート・スプレツダならびにコンクリート・フイニツシャの製作を開始することになった。なお、本機はすべて大倉商事KKを通じて販売される。以下その概要を紹介する。

Vögele コンクリートスプレツダ

1. 概 要

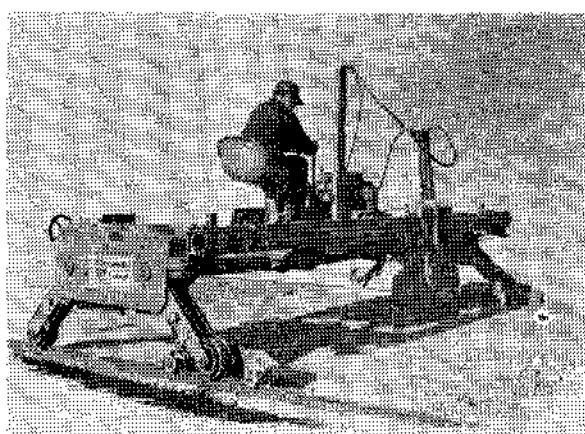
本機は路盤上にダンプカーから下された生コンクリートを自走し乍ら余盛を含めた所要の高さにショベルで敷均らすもので、運転士は腰を掛けたままショベルを自由自在に操作し、高さと走行速度も容易に調整することが出来る。また移動には取付け、取外しのきく便利な運搬車が用意されている。

2. 仕 様

形式 ジュニア一形 △主要寸法（舗装巾3.75mの場合）全長4500mm、全巾1850mm、全高1250mm、△全重量（舗装巾3.75mの場合）約1.9t、△舗装巾員2.5～3.75m（調整可能）△作業・移動速度 最大22.5m/min △舗設厚調整寸法 最大350mm、△原動機形式 空冷横形4サイクル ディーゼルエンジン

3. 構 造

本機の構造は台ワクの主ケタ上にエンジン、歯車箱、油ポンプ、ショベル、駆動用ドラム、運転士席が、下部にはショベルが取付けてある。また台ワク左右の走行車輪ワクには走行車輪を取り付けた脚台と、高さ調整用の油圧シリンダが設けてあり、装置全体は極めて軽量にして、且つ合理的な構造になっているが、その構造を大別すると次のとくなる。



写真はスプレツダの運転状況

3.1 台ワク

台ワクは左右の走行車輪ワクを支持すると共に、エンジン、歯車箱、油ポンプ、ショベルおよびその駆動装置、運転士等を支えるもので、主ケタは2本の長い鋼管よりなり両端は車輪に応じて調整出来るよう伸縮自在になっている。走行車輪ワクは偏平な箱形をした鋼板製で、走行車輪を取付けた脚台と、高さ調整装置を備えている。なお台ワクの主要構造はフイニツシャと共通である。

3.2 ショベル

ショベルは1000×500mmの大きさをもつ1本の鋼板製で、作動は強力なロープと油圧を使用しているので、極めて確実で且つ迅速であり、運転士は腰を掛けたままで自走中でも自由自在に操作することが出来る。その駆動方法は左右に取付けた滑車を介してショベル支持台を結んだ1本のロープを巻取ることにより、案内ハリに沿って走行車輪ワク内を左右に移動する。またショベルの回転はショベル支持台に設けた回転油圧シリンダに油ポンプで発生した高圧の油を送り、最大180°回転することが出来る。なおショベルの横方向の移動は手動レバーで、また回転は足踏ペタルで操作する。

3.3 走 行

走行は前後進1段であるが、エンジンの回転を制御することにより、最大22.5m/minの範囲内で自由に変えることが出来る。その駆動方法はエンジンから歯車箱を経てロッドとチェーンを介して駆動する。

走行は装置全体の高さの変化にも全く無関係で、しかも急なカーブでも極めて容易である。また走行車輪は何れも両フランジ付で脱線の心配はない。

3.4 高さの調整

強力な油圧装置により装置全体を持ち上げ、自重によって下げる昇降方式を採用している。予め所定の高さにセットしておくと、運転士席に設けた高さ調整用の足踏ペタルの操作加減に拘わらず、自動的にその高さにセットされる。

なお高さの調整は走行中でも容易に行うことが出来

資料編

る。

3.5 移動装置

他所への移動は走行車輪ワクに簡単に取付け、取外しの出来るゴム車輪付運搬車でトラックで牽引して行うが、この運搬車はフィニツシャとも共通である。

4. 機能

舗装巾を2.5mから3.75mの範囲内に於いて無段階にコンクリートを敷均すことが出来る。またコンクリートの厚さの調整は最大350mmまで可能で、その操作は極めて簡単である。

5. 特長

- (1) 現在国産のスプレツタは何れもスクリュー或いはスクリード式であるから、ダンプカーで路盤上に投入した生コンクリートを予め人力で均した後でないと機械を運転することが出来ない。しかし本機は強力なショベル式であるから、山積の生コンクリートも至極簡単に敷均すことが可能で全く力を要しない。
- (2) スクリード式のスプレツタでは生コンクリートをかきませる結果、セメントと骨材が分離してコンクリートの品質を低下させるが、本機はショベル式であるのでコンクリートを均質に保つことが出来る。
- (3) コンクリートの中に鉄網を入れる際、現在国産のスプレツタは何れもスクリュー或いはスクリード式で、しかもフィニツシャと一体になっているので、生コンクリートを何回にも分けて均一に均し、その間に鉄網を入れて所要の厚さに敷均すことが困難である。しかし本機はショベル式でフィニツシャとも分離しているのでこれらの作業が極めて容易である。
- (4) コンクリートの余盛の調整は極めて重要であるが、現在国産のスプレツタでは余盛の調整、特にカーブに於いて外側を厚く、内側を薄く調整することが困難であるが、本機は容易且つ正確である。

Vögele コンクリートフィニツシャ

1. 概要

本機はスプレツタで路盤上に敷均した生コンクリートを、自走し乍ら先ずファーストスクリードで余分のものを

を切り取り予圧を加え、バイブレータで十分締固めた後、フィニツシングスクリードで表面仕上げを行うもので、運転士は腰を掛けたままで容易に操作することが出来る。また移動には取付け、取外しのきく便利な運搬車が用意されている。

2. 仕様

形式 ジュニアー形 △主要寸法(舗装巾3.75mの場合)、長×巾×高さ4,300mm×1,750mm×1,250mm △全重量(舗装巾3.75mの場合)約2.5t △舗装巾員1.5~3.75m(調整可能)、△作業・移動速度0.8~25m/min(8段変速) △舗設厚調整寸法350mm、△バイブルーテー・振動数4,500c.p.m、振巾約±2mm、△原動機形式空冷横形4サイクルディーゼルエンジン

3. 構造

本機の構造は台ワクの主ケタ上にエンジン、駆動箱、油ポンプ、運転士席が、下部にはファーストスクリード、バイブルーテー、フィニツシングスクリードが取付けた。主ケタの両端は巾員に応じて調整出来るよう伸縮自在になっている。

3.1 フィニツシングスクリード

ファーストスクリードと同様に主ケタの下部に設けた横ハリの後端に、回転ハンドルにより高さの調整が出来るよう、2ヶ所で左右方向に水平に支持した鋼板製箱形断面をしたビームで、バイブルーテーで締固めた生コンクリートを所定の正しい高さに揃え乍ら表面仕上げを行うものである。なお舗装巾に伴う長さの変更は本機に付属したアタッチメントを装着することにより、あらゆる長さに容易に調整することが出来る。

3.6 走行

駆動方式はスプレツタと同様であるが、速度を0.8~25m/minの範囲内で前後進8段の変速によりコンクリートの性質、舗設厚により、最適の走行速度が得られるだけでなく、強力なエンジンと確実な駆動方法によって円滑な走行が可能である。走行は装置全体の高さの変化にも全く無関係で、しかも急なカーブでも極めて容易である。走行車輪は片側2個が両フランジ付で、スチールホームに沿って走行するが、他の2個はフリットであるから既設のコンクリート上でも走行することが出来る。

現今通信

松尾橋梁社長

松尾橋梁社長相谷昌次氏は在勤50年を機会に後進に途を開くため辞任、専務北栄弥三松氏を後任社長に推薦就任を見た。

安藤四郎氏(鐘淵機械工業役員)は今度同社を円満退社の上、東浦自動車工業KKに勤務されることとなつた。

日本コーティング工業発足

三和特殊製鋼KK(社長堀内清氏)はセラミックコーティングによる各種工業機器の断熱・耐熱・耐磨耗・耐蝕性の増強に画期的な飛躍を期し今度米国ノートン社のローカイドコーティング技術を導入し新に日本コーティング工業KKを設立し活動に入った。尚役員は次の通り就任した。

△社長堀内清△取締役鳥山正人△桑谷玄称△堀内惟次郎△平尾正雄△監査役竹中実各氏。